

## 成道会を迎えて

めざめた人は 風にゆるがぬ 盤石のように  
そしりとほまれの中にあっても ころは少しも動じない

(法句経 8 1) めざめられた方をインドの言葉では、「B u d d h a (ブツダ)」とい  
います。中国の経典翻訳上の鉄則に、「深い意味をもつ言葉は、発音のままに写せ」とある  
ところから、「B u d d h a」を「仏陀」としたのです。

この世で最初にめざめられた方は、「釈迦族の最も尊い方」という意味で、「釈尊」と  
申し上げています。

釈尊は、喩えの巧みな方でした。

めざめた人とは、「そしりとほまれの中にあっても、ころは少しも動じない」という、  
ころの状態を指していますが、これでは抽象的ですので、「風にゆるがぬ 盤石のように」  
と、具体的な事実を示して理解を容易に深められるように語っているのです。

ひるがえって、私はどうでしょう。

そしられたら顔をゆがめ、腹をよじらせて怒り狂います。ほめられもしたら有頂天にな  
り、ひとりでほくそえんでいます。

ひとつの言葉でもちあがり、ひとつの言葉で奈落の底にたたき落ちる。そのようなのが、  
この私です。

ひょっとしたら、息をひきとるその瞬間まで、動きに動きまわっていそうです。

12月8日、幼名、ゴータマ・シッダッタは、「釈尊」と呼ばれる方に生まれかわられま  
した。めざめた方となられたのです。

その日、仏教徒は、よろこびをもって、成道会をつとめるのです。